

未来セッション-空き家空き店舗活用- 豊橋リノベーションまちづくり vol.01



まちの魅力と課題とは？

第1回目は、ファシリテーターの藤田さんの進行により、豊橋まちなか未来ビジョンで描いた2050年のまちなかの将来像実現に向けた同未来セッションの意義やまちなか活性課が主催してきたリノベーションまちづくりの振返等から始まりました。続いて、参加者らの自己紹介を行い、参加者は20代の大学生から上は80代と幅広い世代で、各自のまちなかやワークショップへの思いを共有し、お互いを知った上で、まち歩きへ！歩くコースは会場の豊橋市民センターを出て、萱町通り→広小路2丁目→花園町→魚町を2グループで巡りました。最後に、まち歩きの中で参加者らが今と昔の変化を話しながらか、見て、感じとったまちの魅力（渋ビルやレトロな街灯、坂道がなく歩きやすい道等）と課題（通りや建物等の歴史や文化の継承、駐車場からの車の出入りや若者はじめまちへの関心を高める必要がある等）を4つのグループでまとめ、発表を行いました。



リノベーションまちづくりとは？



遊休不動産をリノベーションにより再生させるとともに、そこを起点として新しいコンテンツを集積させ、エリアの価値を高める取組みのことで。また、この取組みに関わる多くの方々が交流しながら、互いに高め合い、「人」もまちと共に成長していくことも大事な要素です。



1回目を経て

地域からもたくさんワークショップに参加いたり、まち歩き中に話しかけてくれる方がいたり、豊橋の魅力を感じた1回目、楽しくいい雰囲気です。皆さんとまちをみることができました。妄想を膨らませ、エリアを考える次回も本当に楽しみです！

【ファシリテーター 藤田 まや 氏】

ファシリテーター藤田さんの進行で参加者同士のコミュニケーションが活性化され、良い雰囲気の中で年齢差最大60歳の参加者らが、まち歩きを通じて、この地に培われてきた歴史や魅力・課題を共有でき、今後のエリア構想がとて楽しみになる初回でした。

次回：エリアのコンテンツ検討やエリア分析
【豊橋まちなか未来会議事務局 大桑】

豊橋のまちなかの情報や未来ビジョンなどはこちらから

